

第02回

- 講演者：長澤 壯之 (埼玉大学理学部)
 - 題目 $\square$ Helfrich 変分問題の非軸対称解
 - 日時：平成17年 6月 7日(火) 16:30 ~ 17:30

Helfrich 変分問題は、赤血球の形態変換の数理モデルとして、1970 年代に Helfrich らによって提唱されたものである。それは、閉曲面に対するある制限つき変分問題の臨界点として、赤血球の形が決定されるというものである。この変分問題の解として、軸対称性を持つものは古くから知られており、球面に近いものはその安定性・不安定性の解析もなされている。本講演では、軸対称性を持たない解の存在について報告する。これらの解の存在は、群同変性分岐理論の equivariant branching lemma から示唆されるが、ここでは、equivariant branching lemma を用いない方法を紹介する。



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

8 images

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/seminar/2005/002>

Last update: **2017/11/17 18:03**

